

# 区長所信表明

## 項目

- 1 はじめに
- 2 平成20年度決算について
- 3 新型インフルエンザ対策について
- 4 「したまちコメディ映画祭 in 台東」について

- 5 国立西洋美術館の世界遺産登録について
- 6 スポーツ振興基本計画について
- 7 (仮称)清川二丁目福祉施設について
- 8 補正予算について

# 一般質問

9月18日の本会議において、区長・教育長に対し、各会派の代表7名による一般質問が行われました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

台東区議会自由民主党



たにuchi はる よし  
**田口 治喜**

予算と補正予算について

**問** 今般の政権交代で、国が補正予算を原則として執行停止するといわれているが、区ではどのような変更が生じると考えているか。また、その影響をどのように想定しているか。**答** 国の補正予算により地方自治体に配分された補助金や交付金のうち、複数年度にまたがる基金の取り扱いについて、現在のところ、国から具体的な通知等は受けていない状況です。新たな通知等が示された段階で、区民生活に影響がないよう適切に対応していきます。**問** 新政府において、従来の予算編成とは大きく違った手法で取り組む姿勢が示されているが、区の22年度予算編成作業にどのような影響があると考えているか。**答** 国の予算編成スケジュールの変更などにより影響が出てくる可能性があります。国の動向を十分注視するとともに制度改正などの情報収集に努め、迅速かつ柔軟に対応していきます。**問** こうした政治状況の中で、予算編成にあたり行われる区長プレゼン

テーションなどで、どのような姿勢を打ち出していくのか。**答** 政治経済状況の変化の中にあっても、引き続き、区民の皆様の日々の生活を守り続けることができるよう、区民ニーズに即した適切な施策を展開していく必要があります。予算編成方針会議などを通じて全職員に私の考えを徹底させるとともに、基礎的自治体の長として、「元気な台東区」を実現するという確固たる姿勢で、22年度予算編成に全力で取り組んでいきます。

### 「江戸ナンバー」プレートの導入について

**問** 自動車の「ご当地ナンバー」として、「江戸ナンバー」プレートの導入を改めて提案する。本区と近隣区を合わせた自動車登録台数の合計は要件を満たしており、導入による経済効果と当該地域の一層のグレードアップが期待できる。近隣自治体や関係団体等に働きかけ、「(仮称)江戸ナンバー推進協議会」を立ち上げるなど、積極的な取り組みを望むが、区長の所見を伺う。**答** 新たな地域表示ナンバープレートの導入については、地域振興や観光振興等の観点から、大変有意義なことと思います。また、導入には、住民の意向を踏まえることが必要であり、その実現には、地域住民の機運の高まりが欠かせないものであると認識しています。観光団体や経済団体等における導入に向けた動きと合わせて、実現に向けて努力していきたいと考えています。

台東区議会区民クラブ



きのした えつ き  
**木下 悦希**

横断歩道橋のバリアフリーについて

**問** 横断歩道橋は極力無くすべきと考えるが、通学路、その他の交通事情などにより、横断歩道橋が必要な場所もある。必要な横断歩道橋は、一日も早くバリアフリー化しなければならないと考えるが、バリアフリー化についての区長の基本的な考え方を伺う。**答** 横断歩道橋は、設置した当時との社会状況等の変化により、その必要性を問われ、撤去されるものもあります。一方で、必要性の高い横断歩道橋は、利用者の利便性をより高めることが必要と考えています。**問** 現在、国や都とは、どこの横断歩道橋について、バリアフリー化の話合いを行っているのか。また、今後、国や都に対して、働きかけを行っているのか。**答** 国及び都が管理する横断歩道橋についても、利便性の向上を目的に、要望を国や都に申し入れ、調整を図っています。現在、三ノ輪交差点歩道橋のあり方について、国と話し合いを行っています。今後、エレベーターの設置に向け、さらに調整を図っていきます。**問** 横断歩道橋については、国や都という垣根を越えて、積極的に必要性の有無を調査する必要があると考えるが、どうか。**答** 横断歩道橋の整備等に関しては、国及び都と協力し、連携を

深め、区民の利用しやすい道路環境を目指し、積極的に働きかけていきます。

### 個人商店や近隣型商店に対する区長と教育長の姿勢について

**問** 世界同時不況の波が深刻な影を落とし、個人商店や近隣型商店は、大変厳しい状況に置かれている。この状況は、自助努力で対応できる範囲を超えている。個人商店等が置かれている状況を、区長はどのように認識しているのか。また、個人商店等に対し、積極的に支援協力していくべきであり、区が使う物品等を地元の商店から購入する必要があると考えるがどうか、区長に伺う。**答** 区内の商店は、これまでも厳しい経営環境にありましたが、世界同時不況により、さらに厳しい状況にあると認識しています。区としては、経営相談の充実、緊急融資制度の実施など、地域の商店の活性化に努めています。また、区が購入する物品については、今後も区内中小企業からの調達に努めます。**問** 20年度の学校給食において、米については、全購入量の87.7%を財団法人東京都学校給食会から購入している。このような学校給食の現状をどのように考え、今後どのように対応していくのか、教育長に伺う。**答** 米は、安定供給ということなどから東京都学校給食会から購入している学校が多いという現状ではありますが、従来から地元米穀販売業者から購入している学校や、今年度から新たに地元業者からの購入に切り替えた学校もあります。今後、地元業者と話し合いながら、学校に対して様々な情報提供を行うとともに、納入業者選定に当たっては柔軟に対応するような働きかけも行っていきます。

台東区議会公明党



いけだ きよえ  
**池田 清江**

台東区次世代育成支援地域行動計画について

**問** 前期計画で重視した視点、進捗状況、評価及び課題は何か。評価を踏まえ後期計画にどのように反映させるのか。これからの次世代育成はどのような方向を目指すのか。**答** 基本的視点は、子どもの成長と自立の支援、ゆとりを持って生み育てる環境の整備、地域が一体となった子育ての応援の3点です。約8割が目標を達成していますが、未達成事業の見直し等を行い後期計画に反映させていきます。引き続き、「子どもたちの笑顔にあふれ、にぎわいと活力のまち・たいとう」を目指します。**問** 認可保育所の整備の進捗状況を伺う。また、待機児童を解消できるのか。**答** 早期の開設に向けて努力します。保育需要に迅速に対応し、待機児童の解消に努めます。**問** 特別の支援を要する子は保育に欠ける子と判断し、入園を認めるべきと考えるが、どうか。**答** 早期発見に努め適切に対応していきます。**問** 母と子の安定した愛着関係の確立も重要な視点であると考えているが、どうか。**答** 後期計画にも親子のスキンシ

ップを推し進める講座等を盛り込んでいきます。

### 教育問題・学力向上対策について

**問** 発展的な学習への転換の成果、課題は何か。**答** 習熟度の高い児童・生徒に対し発展的な課題に取り組ませることができるようになりました。今後は様々な習熟度の児童・生徒へのきめ細かな指導が課題であると考えています。**問** 全国学力学習状況調査の結果を受け各校で行った取り組みは何か。**答** 授業の質的向上や家庭学習の定着を図る指導等に取り組まれました。**問** 教科指導上の課題、対策は何か。**答** 知識・技能を活用する問題の正答率が低い傾向にあるため、学んだことを生かしていく授業展開を進めていきます。**問** 新学習指導要領への移行の準備は進んでいるのか。**答** 改訂の趣旨を踏まえて教育課程を編成し、全体計画等を立てているところです。**問** 基本的な生活習慣の定着についての対策は何か。**答** 日常生活指導とともに保護者会等を通じ意識啓発を図っています。**問** 子どもたちの学習意欲の実態をどのように考えているのか。**答** 学習習慣が未定着な児童・生徒の中に意欲に欠ける子どもがおり、課題であると感じています。**問** 今後いかに学習意欲と学力の向上を図ろうと考えているのか。**答** 学ぶ目的や意義を考えさせ、成就感や自己有用感を意欲向上につなげていきたいと考えています。